



発刊にあたって

日ごとに寒くなり、冬の気配を感じる今日このごろ、いかがお過ごしでしょうか。

皆さまは、燕市内にどんな文化財があるかご存じですか。ここでは、燕市内の文化財を紹介し、文化財を守る取り組みや文化財に関する様々な情報を紹介します。燕市教育委員会では、国民共有の財産である文化財を守り、後世の人たちにも変わらぬ感動を感じてもらえるように取り組んでいきたいと思ひます。

新指定・認定文化財の紹介

平成 22 年度、燕市では文化財ニュースが 2 件ありました。一つは玉川宣夫さん（花見）が国の重要無形文化財保持者（いわゆる人間国宝）に認定されたこと、もう一つは国上寺（国上）の木造千手観音菩薩立像が新潟県有形文化財に指定されたことです。

●玉川宣夫さんの紹介

玉川さんは、昭和 17 年に生まれ、父・玉川覚平氏と関谷四郎氏（昭和 52 年重要無形文化財「鍛金」保持者認定）に師事し、伝統的な鍛金の技法を高度に修得しました。特に「木目金」技法を研究・体得して独自の作風を確立しました。木目金は、種類の異なる金属板を重ねて表面に文様を彫り、色層の重なりを活かして木目・斑状の文様を打ち出しながら器物を形成する鍛金技法です。なお、玉川さんの作品は、燕市産業史料館に展示されています。

●木造千手観音菩薩立像の紹介

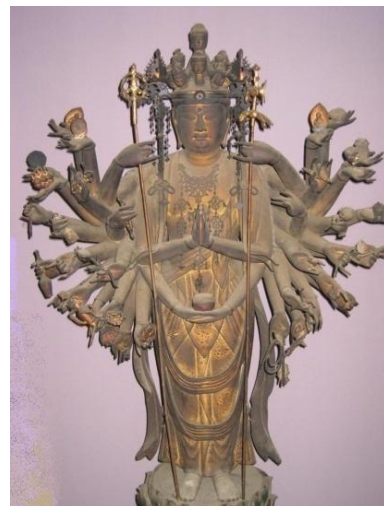
国上寺客殿の本尊として須弥壇上厨子内に安置されている千手観音菩薩立像です。像高 108.6cm、彫眼。ヒノキ材の寄せ木造りで、一部を失くし補修などがありますが大半を当初のまま残しています。作風や様式の特徴から、京都仏師系による王朝文化への強い憧れのもとに作られた 13 世紀半ばのものと考えられます。伝来は不明な点が多いものの、その洗練・完成された作域が評価され、新潟県有形文化財に指定されました。

◇玉川さんの重要無形文化財保持者認定について、

「広報つばめ（平成 22 年 12 月 1 日号）」に特集されています。詳しくは燕市ホームページでご覧になれます。



木目金花瓶（燕市産業史料館ホームページより）



●燕市所在の文化財一覧 (2011. 9. 30 現在)

≪指定文化財≫

| 区分 | 種別 | 名称 | 指定年月日 | 所在地 | 所有者等 |
|----|----|---------------------|-----------|---------|-----------|
| 国 | 書 | 良寛遺墨(阿部家伝来) | S55.6.6 | 渡部 | 個人 |
| 国 | 工芸 | 鍛金 | H22.9.6 | 花見 | 玉川宣夫 |
| 県 | 絵 | 金地著彩群鶴図(板貼付)岸駒筆 | S42.3.25 | 地藏堂本町 1 | 願王閣 |
| 県 | 彫 | 木造千手観音菩薩立像 | H23.3.22 | 国上 | 国上寺 |
| 県 | 書 | 良寛遺墨 | S29.2.10 | 牧ヶ花 | 個人 |
| 県 | 書 | 長善館学塾史料(※) | S42.3.25 | 新潟市女池 | 燕市 |
| 県 | 古 | 維宝堂所蔵古文書 | S29.2.10 | 源八新田 | 個人 |
| 県 | 工芸 | 玉川堂の鎚起銅器 | S33.3.5 | 燕 | 玉川堂 |
| 県 | 民芸 | 下中野御神楽舞 | H10.3.31 | 吉田下中野 | 下中野神楽連中 |
| 県 | 史 | 良寛修行地(五合庵境内、乙子神社境内) | S27.12.19 | 国上 | 国上寺、乙子神社 |
| 県 | 天 | 八王寺の白フジ | S33.3.5 | 八王寺 | 安了寺 |
| 県 | 天 | 国上山のブナ林 | H5.3.30 | 国上 | 国上寺 |
| 市 | 建 | 原田家住宅と茶室 | S42.4.5 | 中島 | 個人 |
| 市 | 建 | 願王閣 | S43.2.8 | 地藏堂本町 1 | 願王閣 |
| 市 | 建 | 十王堂 | S43.2.8 | 中島 | 中島地区 |
| 市 | 建 | 旧樋口家表門 | S52.4.8 | 燕 | 燕市(燕東小学校) |
| 市 | 建 | 本町屋台 | S53.5.15 | 上諏訪 | 燕市 |
| 市 | 建 | 国上寺本堂 附境内地 | S53.5.15 | 国上 | 国上寺 |
| 市 | 建 | 薬医門 | S55.6.18 | 地藏堂本町 1 | 常昌寺 |
| 市 | 建 | 宝篋印陀羅尼塔 | S59.3.27 | 国上 | 国上寺 |
| 市 | 建 | 宝篋印陀羅尼塔 | S59.3.27 | 牧ヶ花 | 観照寺 |
| 市 | 建 | 諏訪神社 | H8.1.11 | 吉田上町 | 諏訪神社 |
| 市 | 建 | 日枝社 | H8.1.11 | 粟生津 | 日枝社 |
| 市 | 建 | 若宮社 | H8.1.11 | 雀森 | 若宮社 |
| 市 | 絵 | 涅槃図 | S55.6.18 | 分水新町 1 | 新町延命地藏庵 |
| 市 | 絵 | 久保田家五智堂内陣格天井画 | S63.12.27 | 花見 | 個人 |
| 市 | 彫 | 聖観音像 | S42.2.3 | 渡部 | 吉田寺 |
| 市 | 彫 | 木造十一面観音菩薩立像 | S57.2.25 | 佐渡 | 西方寺 |
| 市 | 彫 | 金剛界五智如来 | S57.2.25 | 花見 | 個人 |
| 市 | 彫 | 十六歳孝養太子立像 | S57.2.25 | 大曲 | 福勝寺 |
| 市 | 彫 | 木造狛犬 | S58.3.28 | 燕 | 戸隠神社 |
| 市 | 彫 | 木造正観世音菩薩坐像 | H3.3.25 | 牧ヶ花 | 個人 |
| 市 | 彫 | 木造金剛界大日如来坐像 | H3.3.25 | 国上 | 本覚院 |
| 市 | 彫 | 木造地藏菩薩坐像 | H3.3.25 | 地藏堂本町 1 | 願王閣 |
| 市 | 工 | 鰐口 | S53.5.15 | 国上 | 国上寺 |
| 市 | 工 | 梵鐘 | S54.7.30 | 国上 | 国上寺 |
| 市 | 工 | 堀家釜 | H12.11.28 | 上諏訪 | 燕市 |
| 市 | 書 | 有願筆屏風並聯 | S45.2.3 | 渡部 | 東岸寺 |
| 市 | 書 | 長善館所有物件 | S50.2.25 | 粟生津 | 燕市 |
| 市 | 書 | 湖月抄 | S52.9.27 | 国上 | 国上寺 |
| 市 | 書 | 紺紙金泥写経 | S52.9.27 | 国上 | 国上寺 |
| 市 | 古 | 人体解剖絵図 | S43.4.5 | 分水新町 4 | 個人 |
| 市 | 古 | 大曲佐藤家文書 | S53.9.12 | 水道町 1 | 燕市 |
| 市 | 古 | 花見久保田家文書 | S53.9.12 | 水道町 1 | 燕市 |
| 市 | 古 | 四ツ屋更科家文書 | S54.12.18 | 水道町 1 | 燕市 |
| 市 | 古 | 大字熊森文書 | H1.3.24 | 上諏訪 | 熊森地区 |
| 市 | 古 | 中村家(大字新長)文書 | H1.3.24 | 上諏訪 | 燕市 |
| 市 | 古 | 齋藤家(大字中島)文書 | H1.3.24 | 上諏訪 | 燕市 |
| 市 | 古 | 原田家(大字真木山)文書 | H1.3.24 | 真木山 | 個人 |
| 市 | 古 | 中村家(大字地藏堂)文書 | H1.3.24 | 地藏堂本町 1 | 個人 |

| 区分 | 種別 | 名 称 | 指定年月日 | 所在地 | 所有者等 |
|----|----|--|-----------|---------|------------------------|
| 市 | 古 | 竹山日記 | H1.3.24 | 上諏訪 | 燕市 |
| 市 | 古 | 御小屋日記 | H1.3.24 | 上諏訪 | 燕市 |
| 市 | 古 | 解良家文書 | H2.3.23 | 牧ヶ花 | 個人 |
| 市 | 古 | 解良家伝世遺墨 | H4.4.30 | 牧ヶ花 | 個人 |
| 市 | 古 | 良寛及び縁故者の遺墨 | H4.4.30 | 上諏訪 | 燕市 |
| 市 | 古 | 原田家古文書 | H5.4.26 | 中島 | 個人 |
| 市 | 考 | 釜屋の壺 | S53.9.12 | 水道町 1 | 燕市 |
| 市 | 考 | 横瓶 | S55.6.18 | 砂子塚 | 個人 |
| 市 | 考 | 横瓶 | S55.6.18 | 中諏訪 | 個人 |
| 市 | 考 | 有窓土器 | S55.6.18 | 上諏訪 | 燕市 |
| 市 | 考 | 珠洲系陶質土器 | S59.3.27 | 渡部 | 個人 |
| 市 | 考 | 珠洲系陶質土器 | S59.3.27 | 国上 | 個人 |
| 市 | 考 | 珠洲系陶質土器 | S59.3.27 | 国上 | 国上寺 |
| 市 | 考 | 萬元上人墓碑 | S60.2.25 | 国上 | 国上寺 |
| 市 | 工芸 | きせる手造り技術 | S52.4.8 | 燕 | 燕市きせる工芸保存会 |
| 市 | 有民 | 野鍛冶習俗資料 | S52.4.8 | 大曲 | 燕市 |
| 市 | 有民 | ヤスリ製作関係資料 | S52.4.8 | 大曲 | 燕市 |
| 市 | 有民 | 彫金製作関係資料 | S52.4.8 | 大曲 | 燕市 |
| 市 | 有民 | 洋食器製作関係資料 | S52.4.8 | 大曲 | 燕市 |
| 市 | 有民 | 鋤起銅器関係資料 | S52.4.8 | 大曲 | 燕市 |
| 市 | 有民 | きせる製作関係資料 | S52.4.8 | 大曲 | 燕市 |
| 市 | 有民 | 諏訪神社奉額「農事絵馬」 | S59.12.24 | 水道町 1 | 諏訪神社 |
| 市 | 有民 | 下粟生津四季生業図絵馬 | H20.1.7 | 上諏訪 | 下粟生津赤坂諏訪神社 |
| 市 | 民芸 | 燕の神楽 戸隠神社御神楽 小池諏訪神社太々神楽 小池諏訪神社獅子神楽 | S54.12.18 | 燕 小池 | 燕御神楽神伶会 小池諏訪神社祭礼協賛会 |
| 市 | 民芸 | 地藏堂屋台ばやし | H6.12.22 | 地藏堂本町 1 | 地藏堂屋台ばやし保存会 |
| 市 | 史 | 長善館址碑 | S42.2.13 | 粟生津 | 燕市 |
| 市 | 史 | 長谷川鉄之進誕生地 | S42.2.13 | 下粟生津 | 個人 |
| 市 | 史 | 米納津隕石落下地記念碑 | S42.2.13 | 富永 | 米納津隕石保存会 |
| 市 | 史 | 渡部城址 | S44.5.31 | 渡部 | 菅原神社 |
| 市 | 史 | 夕ぐれの岡 | S44.5.31 | 国上 | 国上寺 |
| 市 | 天 | 柳山の大躰躑(ツツジ) | S59.3.30 | 柳山 | 個人 |
| 市 | 天 | 小高の大躰躑(ツツジ) | S59.3.30 | 小高 | 個人 |
| 市 | 天 | 灰方の大櫨(ケヤキ) | S59.3.30 | 灰方 | 個人 |

《登録文化財ほか》

| 区分 | 種別 | 名 称 | 指定年月日 | 所在地 | 備考 |
|----|------|------------|----------|-----|-----------------|
| 国 | 工芸 | 燕の鋤起銅器製作技術 | S55.3.14 | 燕市 | 記録作成等を講ずべき無形文化財 |
| 国 | 土木治水 | 大河津分水洗堰 | H14.2.14 | 大川津 | 登録有形文化財 |
| 国 | 産業2次 | 玉川堂店舗 | H20.7.8 | 燕 | 登録有形文化財 |
| | | 玉川堂鍛金場 | | | |
| | | 玉川堂土蔵 | | | |
| | | 玉川堂雁木 | | | |

【種別】建…建造物、絵…絵画、彫…彫刻、工…工芸品、書…書跡・典籍、古…古文書、考…考古資料、歴…歴史資料、工芸…工芸技術、有民…有形民俗文化財、民芸…民俗芸能 史…史跡、名…名勝、天…天然記念物 ※長善館学塾史料は、県立文書館へ寄託されており、現在燕市に所在しません。

こんなときはご一報ください

文化財所有者・管理者の皆さまへ

ここ数年、所有または管理の文化財に関して教育委員会への連絡が遅れたために、その取り扱いに困難を生ずる場合が増えています。そのため、文化財について何らかの行為を行う場合や文化財に変化があったときなどは、教育委員会（生涯学習課）へご一報くださるようお願いいたします。

特に、以下のような場合は燕市教育委員会へご連絡ください。

- 文化財が傷んでしまっているので修復したい。
- 博物館などから借用したいという依頼がきた。
- 転居する。または、一時的に文化財の所在地を変更する。
- 地震や大雨などにより文化財に被害が生じた。 . . . など

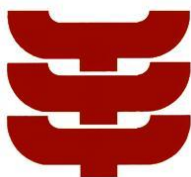
※今後、文化財所有者・管理者の皆さまへ文化財保護に関するアンケートを実施しますので、ご協力をお願いします。

トピックス

石黒克裕さん（燕市文化財調査審議会委員長）、平成 23 年度新潟県知事表彰を受ける

石黒さんは、燕市史や多くの地域史に関する刊行物の執筆・編集を担当するとともに自身でも著作を発表するなど、永年にわたり郷土史を研究されてきました。昭和 58 年から燕市文化財調査審議委員を務めているほか、平成 12 年度から 22 年度まで新潟県文化財保護指導委員として文化財パトロールに尽力されました。このたびは、燕市のみならず県内の文化財保護活動について、「芸術・文化の向上に貢献」したとして県知事表彰となりました。これは、平成 20 年度の新潟県教育委員会表彰に加えての表彰です。

文化財愛護シンボルマーク



このマークは、文化財愛護運動を全国に推し進めるためのシンボルとして、昭和 41 年 5 月に定められました。

広げた両手の手のひらのパターンによって、日本建築の重要な要素である斗^と拱^{きょう}をイメージしたもので、これを3つ重ねることで文化財を過去、現在、未来にわたり永遠に伝承してゆくという愛護精神を象徴したものです。

斗^と拱^{きょう}とは、斗^{ます}と肘木^{ひじき}を組み合わせた「組もの」。木造の寺院建築などで支柱上にあって深い軒を支えるしくみのこと。